



第**23**期
コースNo. **3**

工場管理者 養成コース

対象者 経営幹部、工場長、生産現場の管理・監督者 定員 20 名



受講料 179,000 円(教材費含む・税込) ※受講料は変更になる場合があります。

期日 (18日間) 1回目 平成28年6月14日(日)▶16日(月) 2回目 平成28年7月12日(日)▶14日(月) 3回目 平成28年8月17日(日)▶19日(月) 4回目 平成28年9月12日(日)▶14日(月) 5回目 平成28年10月18日(日)▶20日(月) 6回目 平成28年11月15日(日)▶17日(月)

3 工場管理者養成コース

マネジメント視点で現場改善や管理の仕方を学びます。

生産現場の管理・監督者として
マネジメント力の高い
『工場管理者』を目指す!

生産現場の管理・監督者には、Q(品質)、C(コスト)、D(納期)をはじめとした、生産の基本要素を理解し、自社の課題解決をリードする実践的・総合的な能力が必要とされます。当校の「工場管理者養成コース」は、生産の基本要素であるQ・C・D改善の考え方や手法を体系的に学ぶと共に、品質管理、原価管理、工程管理を効果的に行う事の出来るマネジメント力を養成することを目的とした研修です。

育成目標とする
工場管理者像

工場管理の基本理解と実践力を持つ工場管理者

生産管理の知識習得とマネジメント力の向上

顧客の求めるQCDの徹底

自社への応用・実践能力の定着

毎月の課題研究で自社課題解決

工場管理者研修の6つの特長

1 体系的な
学習カリキュラム

4 自社課題解決のための
課題研究(ゼミ)

2 実践的な講義

5 仲間との交流と
切磋琢磨

3 知識の腹落ちを
促進する演習

6 充実した補講



スケジュールおよびカリキュラム

※カリキュラムは変更する場合がございます。

	タイトル/日程	講義	課題研究	インターバル
第1回	工場管理の 基本と現場改善 H28. 6/14 ㊤～16 ㊦	工場管理者の職務と役割(1) 現場改善実践(5S) 現場改善実践(目で見る管理) 現場改善実践(IE) 現場改善実践(3ム改善)		事前準備① 現場写真撮影 事前調査表記入 事前課題対応
第2回	顧客満足のための 品質管理(Q) H28. 7/12 ㊤～14 ㊦	品質管理の意義と管理システム 品質管理の進め方 品質保証と保証体制(ISO9000s) 品質管理手法(QC7つ道具) QC的問題解決技法	課題研究① 課題研究オリエンテーション 課題研究の進め方 自己紹介と自社紹介 自社課題テーマ検討	宿題対応① 現場動画撮影 自社紹介資料作成 事前課題対応
第3回	原価管理と コストダウンの実現(C) H28. 8/17 ㊤～19 ㊦	原価管理の必要性と効果 原価構成 原価管理実践 コストダウンの実現へのポイント	課題研究② 現状分析結果発表 自社課題テーマ決定 調査項目検討	宿題対応② 現状調査・把握 必要に応じてデータ収集 自社課題テーマ検討
第4回	生産管理と 納期管理の考え方(D) H28. 9/12 ㊤～14 ㊦	生産管理の考え方 生産計画の立て方と生産統制 納期確保とリードタイム短縮	課題研究③ 現状分析結果発表 調査結果発表 改善計画案作成	宿題対応③ 調査項目測定 測定結果分析
第5回	生産管理総合演習 マネジメント力強化 H28. 10/18 ㊤～20 ㊦	生産管理総合演習 工場管理者の職務と役割(2)	課題研究④ 改善試行結果発表 改善計画の見直し 反省点と課題の抽出 定着の為の計画作成	宿題対応④ 改善計画試行 試行結果の分析・評価
第6回	課題研究報告会 これからの製造業 H28. 11/15 ㊤～17 ㊦	これからの製造業のあり方	課題研究⑤ 課題研究報告書完成 プレゼンテーション資料完成 課題研究⑥ 課題研究報告会	宿題対応⑤ 報告書執筆 プレゼンテーション資料作成 プレゼンテーション練習

卒業生の声



オークポーターズ
株式会社
製造部 部長
武田 雅美

知識のつながり、流れの重要性を 実感した研修

「管理」とは何ですか？と講師の先生に質問をされ、普段から使っている「管理」という単語を表現できませんでした。今まで何か問題が発生すると「改善」をしたり、「5S」をやらうと整理をはじめたりしましたが、いつのまにか元に戻っているのが今まででした。工場管理者養成コースを受講し工場管理者の役割と現場改善をはじめ各種管理手法を講義や演習で学んだ後、自社の長年の課題であった原価について課題研究を実践したことで、品質、原価、納期の関連性が非常に重要であることが再確認できました。課題研究ではゼミ講師の熱心な指導とアドバイスで改善のストーリーを描き結果を検証する。そしてその改善を管理していくという改善活動と管理活動の関係の深さを認識し、管理活動の大切さを痛感したことで今までの自社の問題を突き付けられたように思います。課題研究は何から手を付けて良いかと言う状況からであり、日常の業務もあることから厳しい時期もありましたが、ゼミの仲間のアドバイスや励まして先が見えるようになり、最後まで取り組むことが出来ました。今後、本研修の内容を仲間にも伝えていって「改善」や「5S」を管理活動で、維持、定着させ次のステップに進みたいと思います。

オークポーターズ株式会社 〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地43番地155 TEL. 028-661-0828 FA X. 028-661-0379

派遣企業の声



オークポーターズ
株式会社
代表取締役社長
大久保 正博

長年の経営課題「原価」の改善に 光が見えた研修

本コースに社員を派遣したきっかけは、本コースを受講された弊社のお客様の変化を目にしたことです。そのお客様は、弊社と同じように団塊世代から団塊ジュニア世代への世代交代という課題を抱える中、本コースを受講されていました。新しい工場管理者が苦悩を抱えながらも、問題を解決し、見事に成長していく姿を間近で見聞きしたことで、弊社も同じ取り組みをしてみたいと思い、派遣を決定しました。弊社の長年の課題は「原価」です。今回、本コースに派遣した製造部長には、原価をテーマに改善することを目的に学んでほしいというミッションを託しました。体系的な知識のインプットに加え、専門の先生が膝を交え、向き合って相談に乗ってくれ、アドバイスをしてくださる中で課題研究テーマを明確化し、現状把握をし、改善計画を進めてくれていますので、着実に成果に繋がることが実感されます。これからも社員の学びを支援していきたいと思っております。